



イマジン
ロータリー

会報

留萌ロータリークラブ会長目標

ロータリーの未来
～ The Future of Rotary ～

2022 ▶ 2023 WEEKLY REPORT

会長 / 申橋 伸幸 幹事 / 青山 貴幸

プログラム

- 本日
会員卓話「生命保険のここだけの話」
山形 純弘 会員
- 次週予定
会員卓話「留萌信用金庫創立90周年を迎えて」
伊藤 伸一 会員

配偶者誕生日
田中 欽也

No. 2942 第21回 2月1日

出席報告

前例会

会員総数	27名
出免会員	6名
出免出席	6名
基準会員出席	17名
出席率	62.96%

例会 / 毎週水曜 12:15～13:15

会長報告

- 1月14日、一般社団法人留萌青年会議所の新春夜間例会に燕副会長が参加しました。
- 田中会員のご尊父の会葬お礼の電話をいただきました。皆様によろしくとのことでした。
- 元会員の村松市立病院長が今月いっぱいまで市立病院を退職されることになりました。治療に専念するとのこと、皆様によろしくお伝えくださいとのことでした。
- 1月20日は第8回定例理事役員会です。理事役員の皆様よろしくお祈りします。

委員会報告

クラブ運営委員会 西谷委員長
先週の例会で出来なかった新春の撮影会を本例会終了後に行います。本来は新春夜間例会の横幕がありますが、夜間例会ではありませんので横幕を用意しませんでした。燕副会長の計らいで、小さいですけど急遽サービスで作っていただきました。ありがとうございました。

幹事報告

- 芦別ロータリークラブ、砂川ロータリークラブより、1月例会プログラムを受領しました。

3分間情報

「エンド・ポリオ・サイクリングチャレンジ」
例会運営委員会 渡邊委員
東京都三鷹ロータリークラブの宮崎陽市会員(2023～2024年度第2750地区ガバナー)がロータリークラブのポリオ根絶に向けた取り組みを

知ってもらおうと、自転車で日本縦断にチャレンジするため、10月1日に北海道宗谷岬を出発しました。留萌を経由して日本海側を走り、6日は青森県・秋田県、8日に山形県、11日に富山県、14日に兵庫県、16日に島根県、18日に山口県、そして20日に福岡県・熊本県を通り世界ポリオデー前日の10月23日に100人近くのロータリアンが待機する中、鹿児島県佐多岬に無事ゴールしました。大変お疲れ様でした。

ロータリーは30年以上にわたりポリオ根絶のため、世界的活動の中心的存在となってきました。当時125ヶ国以上で1年間に推定35万件のポリオ感染があった中、ロータリーは1985年にポリオプラスを立ち上げ、以来ポリオの発生数は99.9%以上減少し、2000万人以上が身体の麻痺から救われたとされます。



ニコニコBOX……………

- 本日はよろしくお願ひ致します。誕生日祝いありがとうございました。 武田エレクト
- 良い年になりますように。 桜元会員
- 武田会長エレクト、年男大いに語る楽しみです。 関野会員
- 新年例会を夜間例会と思い込んで欠席してしまいました。すみません。今年もよろしく。 鈴木会員

前 回	527,000円
今 回	4,000円
累 計	531,000円



プログラム……………

会員卓話「年男大いに語る」

武田会員

本日は私にとって初めての「年男大いに語る」のお時間を頂戴いたしまして、誠にありがとうございます。先月だったでしょうか、渡邊さんよりお話を受けてから何を話そうかと迷走しておりましたが、結局迷っても答えは出ないので、いつも通り思っていることを素直に述べさせて

頂きたいと思います。

まずは、当クラブでは毎年1月に年男年女大いに語る時間を設けていますが、そもそも年男年女とは何なのか？と疑問に思い、改めてグーグル先生に問い合わせてみました。当然ながら出生時と同じ干支を迎えた男女ではあるのですが、調べてみますと年男年女は節分に豆をまく習慣があるそうです。皆様ご存知だったでしょうか？私は知りませんでした。まだまだ我が人生、勉強が必要と痛感させられました。また、歳神様という各家に幸せをもたらしてくれる神様のご加護を多く受け取ることが出来るらしく、非常に縁起の良いものと書かれておりました。まだ新年を迎え2週間程度ではございますが、今年に入ってからのことを振り返ると、嫁さんが随分と優しくなったような気がします。これも歳神様のご加護なるものかと前向きに捉えることにしました。

さて、私は年男であります。皆様と共に新年を迎えられましたので、毎年のように新たな目標や夢を描く時期ではございますが、すでに皆様は目標は立てられたのでしょうか？また、初夢は見られましたでしょうか？私生活、仕事、家族、健康等、様々な分野で独自の希望的観測に近い目標を立てられていることでしょうか。そして年末には「来年こそ」と肝に銘じて同じことを繰り返してしまう。これもまた楽しい人生なのかもしれません。

そんな中、私自身も本年の目標と言いますか人生の道しるべというべきか分かりませんが、四つの目標を立てました。

まず一つ目は、やはり60数年の歴史を数える当クラブの会長職を務めさせて頂くということで、自分なりにロータリアンとしての品格を確立させたいと思っております。「目指せ紳士淑女」を心に秘め、48歳に相応しい、そして社会に必要とされる人間を目指して頑張ってお参ります。

二つ目は、今年こそフルマラソンにチャレンジして完走することです。以前、何かの場面でお話したことがあったと思うのですが、頭の中に幼少期から「いつかはホノルルマラソンを

走ってみたい」という漠然とした記憶があります。普段はお酒を飲んだらすべてを忘れている人間ですが、なぜかこの気持ちだけは忘却の彼方へ葬られることなく残り続けています。3年前に開催された滝川ハーフマラソンの完走後、脱水により救急車で運ばれた苦い経験を払拭すべく、今年の秋冬には達成したいと考えています。

三つ目は、会話する時に一段階トーンを上げることです。自分では全く気が付いていなかったのですが、ここ数年、周りの方から「笑い声を聞いただけで武田さんが居るのがわかる」と言われるようになりました。どうやら私の笑い声には特徴があるらしく、他の男性陣よりもトーンが高いと聞かされました。ですので、暗い声で話すよりも笑い声と同じように高いキーで話すことで、その場の雰囲気をも明るく笑顔にすることが出来れば、細やかながらも社会に貢献できるかなと思っております。副次的効果で言えば、人間は笑うと口角が上がります。口角も筋肉ですから下がるとより老けて見えるので、老化防止にも役立つかなと思っています。口角の上げ方につきましては燕副会長さんに聞いてください。笑うと言うお話をさせて頂きましたが、谷口さんの前任であります松本さんがよく口にしていた言葉があります。「よく笑えた日は佳い一日だ」です。この言葉は亡くなられた日高晤郎さんの追悼番組のタイトルにもなっておりましたが、この言葉の真意を話す松本さんの姿は本当に真剣で、かつ周りの皆さんを笑顔で包み込むようなパワーを発揮されておりました。私も布団に入った時、毎日笑顔で眠りに就けるようにトーンを上げて会話するよう努めて参ります。

目標の四つ目ですが、これは「格言に学ぶ」ことです。私自身、日頃から「常に物事の本質を見抜く力を磨き続けること」を意識して毎日を歩むようになってから、落ち着いた気持ちで生活を送ることが出来るようになりました。そのような意識で生活を送る際によく出てきた感覚が、「昔の人は本当に良いことを仰ってるな」と言う思いでした。先ほどお話した日高晤郎さ

んの言葉も人間としての生涯を生き抜くには最も言葉です。格言を探せばきりが無いほど典故がありますが、言葉の本質を探り、その情景を浮かべ、自分自身を問いながら人生を見つめ直すことを繰り返していきたいと思っております。また、色々な書籍でも出てきますが「死ぬ直前に後悔する事ベスト5」と言う言葉があります。

1. 他人に望まれるようにではなく、自分自身に忠実に生きれば良かった。
2. あんなに一生懸命働かなくても良かった。
3. もっと自分の気持ちを表す勇氣を持てば良かった。
4. 友人関係を続けていれば良かった。
5. 自分をもっと幸せにしてあげれば良かった。

死の直前でなくても考えさせられる言葉です。表面的な変化に感わされず、本質的な自我を築くために、より一層格言や偉人の言葉を意識しながら楽しい人生を歩んでいきたいと考えております。

最後になりますが、どうしても人前で話したい思いがあります。それは「現代に希望が見えにくい」ということです。昔から子供たちに「夢や希望を持って」と強く言っていた、いや強く聞かされていた言葉ですが、夢と希望が同義語ではなく、希望があるから（見えるから）夢を描けるものだと思っています。少子高齢化と叫ばれて久しい昨今において、岸田総理は異次元の少子化対策と銘打って子育て・出産に向けた政策を打って出ようとしています。しかしながら、希望が見えない世界を作り出してきたのは紛れもなく今の親世代です。子供たちではありません。金銭による国の支援はもちろん効果があると思いますが、それよりも大人世代が人生に希望を持ち、その希望を持った背中を子供たちに見せてあげることこそ最大の少子化対策なのではないかと思っております。

私自身振り返りますと、「将来に金銭的な安泰が見えたから」子供を産んだのではございません。お金は無くてもぼんやりとした希望を持っていたと思います。それはきっと、私の親世代がそのような時代を築いてくれたと思いま

第20回 1月18日(水) 天候/曇

す。ですから私個人はもちろんのこと、ロータリークラブとしても社会に希望を見出す一助として活動していったなら最高の一年になるのかなと確信しております。

色々とお申し上げましたが、こんな気持ちで年男48歳を笑顔で過ごしていく所存でございます。ご清聴ありがとうございました。

